

■ 農山村集落との交流型定住による 21 世紀の故郷づくり ■ 「関西大学佐治スタジオ」開設 10 周年フォーラムを開催

～ 関わり続けて 10 年。丹波で地域再生を考える ～

【日 時】12月10日(土)13:00～16:10 【場 所】千里山キャンパス第4学舎3号館3101教室

関西大学佐治スタジオ（兵庫県丹波市青垣町）ではこのたび、丹波市との共催で、空き家の改修を通じた地域再生事業に取り組む佐治スタジオの開設 10 周年フォーラム「～関わり続けて 10 年～丹波で地域再生を考える」を、12月10日（土）13：00より千里山キャンパスにて開催します。

佐治スタジオとは、「関わり続ける定住のカタチ」「21世紀の故郷づくり」をテーマに、学生が主体となって活動を行う地域再生事業の拠点です。同事業は、環境都市工学部・建築環境デザイン研究室の学生グループが、研究活動の一環として日本建築学会創立 120 周年記念近畿支部主催事業「美しくまちをつくる、むらをつくる」設計・計画提案競技に応募し、2006年10月に丹波市長賞を受賞したことに始まりました。

同スタジオでは、過疎地における人口減少や空き家増加による「コミュニティの弱体化」「美しい農村景観の劣化」「若年層の流出」といった問題の解決を目的に、農山村集落の地域再生に向けた仕組みづくりに取り組んでいます。具体的には、空き家リノベーションや滞在型講座・就業体験の実施、地域団体との連携プロジェクトの実践など、丹波の地を新しい形の地域再生モデルとするべく、実践的な働きかけを行っています。

本フォーラム当日はまず、佐治スタジオの植地惇室長が、スタジオ開設 10 年の歴史を振り返りながらその現状を報告し、「空き家を活用したコミュニティビジネスの創出」「地域主体による事業展開の仕組みづくり」などをテーマに、今後の展望を語ります。さらに、開設当初より実施している「地域再生」「ワークキャンプ」「ワークショップ」等に参加した学生による活動成果発表および、「関わり続ける定住のカタチ」についてのディスカッションを通して、地域再生の未来を考えます。

本学では、今後も学生の発想力、行動力を生かして地域に働きかけ、丹波市との相互協力による地域再生に取り組めます。つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

記

【日 時】12月10日（土）13：00～16：10 <報道受付12：30～>

〈第1部〉13：00～13：45

うえじまこと

「10年目で考える関わり続ける定住のカタチ」：植地 惇（佐治スタジオ室長）

〈第2部〉13：45～16：10 「平成28年度の滞在型講座や地域活動の報告会」：参加学生

【場 所】関西大学千里山キャンパス 第4学舎3号館1階 3101教室

吹田市山手町3-3-35（阪急「関大前」駅下車徒歩約10分）

【これまでの経緯】

- ・2006年 日本建築学会近畿支部事業「シナリオ丹波」設計・計画提案競技にて、丹波市長賞を受賞し、住民への提案を経て事業が具体化
- ・2007年 「関西大学佐治スタジオ」開設
- ・〃 丹波市と“まちづくり”に関する包括的な協定を締結
- ・〃 文部科学省平成19年度現代GPに採択
- ・2010年 現代GP終了 → 部分的に事業を継続（現在に至る）



（上）スタジオ外観
（左）〃 内観

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先まで事前にお知らせ願います。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。